

ゆっくりとゆったりと生きる。

slowly slowly

宮崎県
あやちゅう
綾町

宮崎県のほぼ中央に位置し、総面積 9,519ha のうち約 80% が森林で占められています。人口は約 7,000 人前後。西部・北部・南西部ともに険しい九州中央山地に連なり、東部が開けて宮崎平野に続いています。綾北川・綾南川に囲まれた地域は、日本有数の照葉樹林帯が広がる地域であり、鳥獣や魚類の棲息・植物の生育地となっています。

Topic

教えて！綾のライチのこと



大隈さんに食べさせてもらつた綾のライチが美味しいくて、

「自分もつくりたい！」と思つたんです。

煙と果樹の広がる錦原の台地。少し高台にあるこの地区は、町中よりもいつも少しだけ肌寒く感じる。

ビニールハウスの扉を開けると中は明るく暖かい。広くすっきりとして見えるのは、そこに並ぶのが腰高の若い木だからだろう。緑の葉にクリーミム色の新芽……ではない。よく見るとどうの房を逆さにしたような茎に、小さな花がたくさんついている。さらによく見ると花も2種類あって、ふわふわとした雄花と、すでに小さな果実のような形をしている雌花。そこに蓄えられた蜜を求め、足に花粉団子をつけたミツバチが忙しく飛び交っている。

見慣れないこの花はライチの花だ。毎年春先に花を咲かせ5月～6月に収穫を迎える。真っ赤な果皮に独特的の香りと甘味、白く透き通った果実の中につつみと満えられた果汁は冷凍された輸入もののライチとは全くの別物だ。生のライチは食べた瞬間に驚きと感動の声が出る。見た目。味。食感。全てが特別なライチは人に感動を与える力がある。このハウスでライチを育てる川上直美さんもそのひとりだ。

「大隈さんに食べさせてもらつた綾のライチが美味しいくて、自分もこれがつくりたい！と思つたんです。」

綾のライチの美味しさに感動し、1年間先輩農家さんの指導を受け2年前に独立。花の咲くハウスの中で作業をしている直美さんは、農家と言うよりもこれがつくりたい！と思つたんです。」



綾町農業協同組合

JA 綾町では、安全・安心な農畜産物の生産・販売また、環境保全や地域社会への貢献のため、農業関係の方に役立つ情報をお届けし、自然生態系農業に長年取り組んできた有機農業の町として綾ブランド確立に向け努力しています。

〒880-1303 宮崎県東諸県郡綾町大字南俣1137-1
TEL 0985-77-2216
<https://aya.ja-miyazaki.jp/>



続きは note で

「農業は一人では出来ん。みんなで助け合わないと絶対に無理。そのためには部会があるつちやから。」

綾のライチ部会にある。

ア熱帶植物は難しい。「マンゴー」という言つたもので、温度管理のために毎日天気と気温を欠かさずチェックし、それに応じてハウス内を細やかに調整する作業はママな人でないとやはり無理かもしれない。少しのミスで1年が無駄になってしまうので、慎重に慎重に、木の様子を見ながら作業していく。

生産技術の確立されたマンゴーとは異なり、ライチはまだ試行錯誤中で、収量は農家さんの努力によるところが大きい。それでもここ3年ほど、綾のライチの収量が伸び続けている理由は綾のライチ部会にある。

調だ。



川上さんのインスタグラムでは、農園の季節の様子がご覧いただけます。 [einouen703](https://www.instagram.com/einouen703/)

